

定例教育委員会会議録

令和4年9月28日

境港市定例教育委員会（令和4年9月28日委員会会議録）

招集年月日 令和4年9月28日 15時30分

招集場所 市役所第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 山本 淳一

委 員（職務代理者） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 大部 由美

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 松 原 隆

教育総務課長 角 純 也

生涯学習課長 松 本 昭 児

教育総務課長補佐兼指導係長 柳 楽 力 人

生涯学習課長補佐兼図書館副館長 高 橋 真 太 郎

教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 足 立 統

提出議案 なし

協議事項 9月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

報告事項 9月行事報告、10月の行事予定

新型コロナウイルス感染症における対応について

【1. 開会】

山本教育長

ただいまから9月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

山本教育長

本日は議決事項がありませんので、協議事項からとなります。本日の協議事項は9月定例市議会教育委員会関係質問答弁についてです。事前に資料を配付させていただきましたが、ご質問等がありますでしょうか。

渡邊委員

図書館関連の質問が多くて、うれしい反面、難しい課題もあるということを押見させていただきました。雑誌スポンサーについての質問がありましたが、継続していく上で人気のある雑誌とそうでない雑誌とが出てくると思いますが、人気のない雑誌はもういいやということにならないような工夫があればと思います。また、図書館のレファレンスサービスについてご存じでない方もおられると思いますので、その辺りの広報について市報等で積極的に行っていただければと思います。

高橋補佐

雑誌スポンサーは10月から1者増え、15事業者、50誌になります。皆さん自分の会社をPRしたいというよりも社会貢献したいという目的でご協力いただいておりますので、嬉しく思っております。これを気に来年購入する雑誌を増やすことができれば、より多くの方にスポンサーになっていただくという循環ができるのではないかと考えております。

渡邊委員

例えば小児科医でしたら子ども向けの雑誌を希望されると思いますが、それはずっと続くのですか、1年毎に見直しがあるのですか。

高橋補佐

単位は1年ですが、継続更新できるようになっていますので、今スポンサーになっている方がもう1年やりたいということであれば、その雑誌を選んでいただくこととなります。

渡邊委員

継続という形で雑誌を指名できるということですね。

高橋補佐 単年で終わらずに続けて選ぶことができるようにしています。また、新しい方が来られた時に希望する雑誌がないといけませんので、全体数も増やしていく必要があると思います。

渡邊委員 あまり人気がない雑誌でもこれは置いてほしいというものもあると思うのですが、そういう雑誌については例えばくじ引きとかになるのですか。

高橋補佐 そういう雑誌は難しいですね。そこが公費を使っている大事などところでもありまして、数や人気じゃないところの雑誌についても大事にしていく必要があります。

渡邊委員 雑誌は基本すべてスポンサー企業でまかなっていく形ですか。

高橋補佐 スポンサーのお金があてにできないから買わなくても良いという雑誌はありませんので、市の方で予算をつけてという形です。

渡邊委員 人気がない雑誌でも購入されるということですね。安心しました。

中田委員 雑誌に関してですが、業界に特化したような専門的な雑誌というのがあると思いますが、業界的にはそういったところも一般に知ってほしいという思いがあって、本当はそういった雑誌のスポンサーになりたいが、リストにないので難しいということもあると思います。その辺り今の状況では難しいと思いますが、今後スポンサー側からのこういった雑誌のスポンサーをしたいといったリクエストに対して応えられることができるのかという部分を考えてもらえたらと思います。

高橋補佐 今表に出ている雑誌が約100誌で、本は85,000冊くらいになります。その中で住民の方の読みたいもののリクエストをどんどん入れていきたいと考えております。小さい雑誌になりますと置き場のことやバランスのこともあって、スポンサーの方が皆野球の雑誌をとということになると、ほとんどが野球の雑誌になってしまいます。思想的なところや偏りもあって、市としてバランスを取らせていただいているというところもあ

りますが、そういった考えがあるということは館内でも共有したいと思います。

山本教育長

そのほかいかがでしょうか。

十河委員

市民図書館が新しくなり、実際に使ってみて、使いにくい部分を拾い上げ、改善されて、使いやすくなっていくのだと思います。私も県立図書館に行く予定にしていたのですが、実は市民図書館でも検索できるということを後で知り、後日時間を延長して、データベースを使わせていただきました。身近でできるということで、私自身すごく助かりましたので、素晴らしいサービスがあるということをどんどん告知していただけたらと思います。また、これからいろいろな意見が出てくるとは思います。皆が使いやすい市の拠点として進めていただきたいと思います。

山本教育長

県立図書館に限らず、国立図書館までつながることも可能となっていますが、県を出ますとお金がかかるようになっています。これは本の郵送料になるのですが、絶版になっているものや希少なもので都会に行かないと見るのが難しいものであっても見つかる可能性も出てくるとは思います。委員からご指摘があったようにまだレファレンスが上手にできていない部分もありますので、カウンターに案内を設置したり、職員がフロアに積極的に出ていくことで、利用者が相談しやすい環境づくりに取り組みたいと考えております。また、先ほど話がありました広報についても機会をとらえて、積極的に行っていきたいと考えております。そのほかいかがでしょうか。

中田委員

通学路の安全対策について、教育委員会が各学校からの情報をもとに、市の関係課、警察、地元の関係者と合同点検を実施し、必要な安全対策の検討、立案を行い、改善を図っているとありますが、教育委員会がそういったことを集約することが良いことなのかなと。安全対策については、近隣の方が「ここは安全」、「ここは危険」ということを判断しながら指導していくことが大事で、それを教育委員会が集約するということがあればわかるのですが、それを最初からやっていくということになると膨大な仕事量になると思います。私も小学校のPTA時

代に関わった経験がありますが、膨大な作業量で、校区内を東中西に分け、3年かけてマップに落とす作業を行いました。各校に教育委員会からこういったポイントでチェックしてくださいということを伝えて、それを集約するような形が効率的で時間も短縮できるかと思いますが、その辺りはいかがですか。

山本教育長

今は統一するところが学校になっていますが、警察や市の担当課だけでやるのではなくて、見守り隊の方をはじめいろいろな方が「ここは車がスピードを出すので危ない」「ここはショートカットしてくる」といったことを教えてください。犠牲になるのは交通弱者である子どもたちで、八街や大津の交通事故や大阪のブロック塀の事故を踏まえて、担当部署の方で危険個所に三角コーンを設置する等の対策をしていただいておりますが、もっと運転する側に呼び掛ける必要があると思います。車間距離が短かったり、スピードの出し過ぎだったり、ここは一時停止しないと危ないというところでスピードを落とさずに突っ切ったりということがあります。危険個所は見つけても交通マナーがまだまだという部分が大きいので、子どもがそういった犠牲にならないようにやっていく必要があると思います。大きな事故が起こると、「安全点検して結果を報告しなさい」ということはすべて教育委員会に来ますので、そこは教育委員会がしないといけないのかと思います。

中田委員

そこはわかるのですが、本当に危ない箇所というのは地域の中で出てきて初めてわかってくるものだと思いますので、全体を教育委員会がやろうとすると結構時間がかかると思いますので、短期間で集約してわかるようにするには、分担して作業することが必要だと思います。なんでもかんでも教育委員会ということではなく、学校やPTA、地域の方が考えたものを上げてもらうようにしないと効率的に危険個所を把握することができないと思います。

渡邊委員

1年生が最初に保護者と一緒に通学路を歩いたりされると思いますが、そういったものを利用して、気が付いたところを教えてください。そのような形でも良いかと思います。

十河委員

教育委員会だと膨大な量になると思いますが、各小学校区で

あれば小回りが効くところもあると思いますし、今まで安全だったところが、状況が変わって危険になった場合でも把握しやすく、随時更新もできるのかと思います。

柳楽補佐

通学路点検については、一度にすべてはできませんので、小学校区毎に日にちを設定して、実際に歩いてみて、それぞれの立場からここには何が必要かというところの意見を出してもらっています。

中田委員

こういった質問が出るということは、スピード感を持って、見える化していく必要があると思います。時間をかければできると思いますが、それでは最初に見たところが手遅れになってしまい、違う問題が出てきかねないので、スピード感を持ってやるためにはどうしたら良いか、誰に協力してもらったら良いかという部分を一度組み立て直したらどうかと思います。

山本教育長

今だと、担当がすぐに実際に現場や子どもたちの通学の様子を確認し、指摘のあったところはすぐに動いて、「遅過ぎ」ということにならないよう動いております。うち以外の担当課も意識を持ってくれており、ありがたいと思っています。この辺りを更に強化して、連携を密にしながら進めていきたいと考えております。そのほかいかがでしょうか。

十河委員

今日もみなとテラスを覗いた際に高校生たちがいっぱい勉強していて、良い居場所になっているなと思っております。てらすくーるの話も出ているようですが、その辺りのいきさつについて教えていただけないでしょうか。

松本課長

島根大学の学生が中心となっているウェイキーという団体や広島大学の学生が作っているみなみかぜ文庫等3つの団体が中心となって、みなと生徒会という組織を立ち上げまして、その活動の一貫でウェイキーの方が指定管理者と協議して、学習室として会議室を開放して、そこにウェイキーの学生も入って勉強を教えたり、学生の相談を受けたりということを自発的にされたいということで9月30日から1週間、先ずはトライアル的にスタートしたのが、てらすくーるの取り組みになります。生涯学習課としては、みなとテラス学港という事業の中に位置

づけていますので、社会教育指導員の片平と一緒に動いているところですよ。

十河委員 高校生たちも居場所ができるし、大学生に勉強を見てもらえるというのは心強いですね。

松本課長 これから指定管理者ともいろいろ協議が必要になりますが、例えば部屋自体は何時から何時まで開いていることがベースにあって、その内何時から何時まではてらすくーとして大学生がいますというような組み立てになるような形になるのかなと思います。生涯学習課としても居場所づくりというところを一番の目標にしていたので、何とか形にできそうだということでもうれしく思っております。

山本教育長 そのほかいかがでしょうか。

十河委員 芝刈り機のことについて、現状陸上競技場の芝刈り機をスポーツ広場に持って行って、芝刈りを行っているということですが、陸上競技場の方は今芝刈りができていないということでしょうか。

松本課長 陸上競技場については、現状すぐに刈り込まなければいけないという状況ではないので、今のところはスポーツ広場に持って行って使用しているのですが、1台しかないので必要であれば運んでくるという状況です。

十河委員 今のところ、それでまかなえているということですね。

松本課長 陸上競技場の方は今のところ伸びすぎて困っているという状況はないということを確認しております。予定では補正予算が承認された段階ですぐに入札して、10月22日までに納品してもらおうようなスケジュールを考えております。

十河委員 照明が暗いので改修するような話もあったと思いますが、進捗状況はいかがですか。

松本課長 今最終的に詰めている状況で今年度中にはこういう形でとい

うところを決めて設置したいと考えております。

山本教育長 その他よろしいでしょうか。それでは協議事項は以上となります。ここからの進行は事務局の方でお願いします。

足立補佐 それでは報告事項について教育総務課よりお願いします。

【4. 報告事項】

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

伊平屋村交流事業について柳楽補佐より、コロナ対応等について松原局長より報告

足立補佐 ただいまの説明について質問等ありますでしょうか（質問等なし）。

【5. 閉会】

山本教育長 それでは本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。